

登録コード	E6100900	開講年度	2026			
授業科目	知的障害の心理・生理・病理				担当教員	宮地 弘一郎
英文授業名	Fundamentals of Psychology, Biology and Etiology of Children and Youth with Intellectual Disability				副担当	下山 真衣
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限	対象学生
講義室	教育 E 5 0 4 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				障害ある幼児・児童・生徒の 個別性の背景を理解するために必要な知識を習得し、特別支援教育の意義と視点について考察できるようにする。また、知的障害のある幼児・児童・生徒の個別ニーズに応じた支援における、家庭や医療機関との連携の重要性について理解している。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				知的発達の遅れ及び適応行動の困難さの要因となる病理面や併存症・合併症と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解し、それらを応用できる。また、観察や検査を通して知的障害のある幼児、児童又は生徒一人一人の知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性を把握できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	「知的障害児の心理・生理・病理」 知的障害の定義、認知や行動の特性に関する心理学と関連領域の知見について理解する。 知的障害をはじめとした脳障害の背景となる脳の機能、およびその発達と障害について理解する。 障害の原因となる病理学的要因、および知的障害の代表的な原因疾患について理解を深める。					
(5)授業計画	第1～9回：宮地担当，第10～14回：下山担当 第1回：ガイダンス...この授業で何を学ぶか～障害を科学する～ 第2回：知的障害の生理・病理 ...脳の構造 第3回：知的障害の生理・病理 ...脳の機能 第4回：知的障害の生理・病理 ...脳発達の生理と障害 第5回：知的障害の生理・病理 ...知的障害の分類，遺伝要因と環境要因 第6回：知的障害の生理・病理 ...起因疾患(1)（遺伝病，代謝異常） 第7回：知的障害の生理・病理 ...起因疾患(2)（染色体異常） 第8回：知的障害の生理・病理 ...起因疾患(3)（胎児病，その他） 第9回：知的障害の生理・病理 ...知的障害児の健康上の課題等 第10回：知的障害の心理 ...知的障害の定義と疫学 第11回：知的障害の心理 ...知能検査と特別支援教育 第12回：知的障害の心理 ...知的障害と認知特性 第13回：知的障害の心理 ...知的障害と行動特性 第14回：知的障害の心理 ...家庭・医療との連携 定期試験 授業アンケート ＜欠席について＞ ・実習による欠席については、人数により補講を実施する、あるいは各学生の欠席回の授業に相当する課題研究を提示する。 ・やむを得ない理由による欠席については、規定に基づく申請を行い証拠の確認の上で教育実習による欠席と同様の補充方法とする。 ・なお指定した補充方法を履行できなかった場合の再補充は行わない。					
(6)成績評価の方法	筆記試験 知的障害児の理解に関わる心理学・生理学・病理学の内容よりそれぞれ1:1:1					
(7)成績評価の基準	以下の基準により段階評価する。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。 知的障害児の理解に関わる心理学・生理学・病理学の知識について習得水準を下記のように評価する。 秀(S)：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優(A)：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良(B)：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可(C)：授業の達成目標の水準にある 不可(D)：授業の達成目標の水準よりやや下にある					
(8)事前事後学習の内容	幅広い知識内容を習得する必要のある科目であり，授業で講義する内容はその基礎的内容である。配布資料については授業外の時間に十分な予習・復習を行い，さらに授業で講義した内容やキーワードについて図書館等を活用して調べ学習を行い，知識の習得と内容の理解を図ること。なお本科目は，授業と授業時間外での自学自習とを合わせて90時間程度の学習を原則とする。					

(9)履修上の注意	・本科目は「知的障害児の心理・生理・病理」からの名称変更。「知的障害児の心理・生理・病理」受講予定の学生は本科目を受講登録してください。 ・対象学年は特別支援教育コースの学生のもの（特支コース以外は対象学年2-3年）。ただし、本授業の内容には「病弱の心理・生理・病理」「肢体不自由の心理・生理・病理」の基礎となる内容がかなり含まれるため、本授業を先に受講しておくことが望ましい。
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談等について、授業内容については各回の担当教員まで。履修全般に関しては宮地まで。メールまたは研究室訪問により対応する（アドレスは時間割表に記載）。研究室訪問は常時受け付けるが、なるべく事前に訪問日時を相談すること。
【教科書】	特になし。必要に応じて授業中に資料を配布する
【参考文献】	勝二博亮（2023） 知的障害児の心理・生理・病理 第2版 北大路書房 ISBN: 9784762832390 その他、授業の中で適宜紹介する。